

	課題分析	授業改善策
数学	・基本的な計算問題を解く「技能」を持ち合わせている生徒は多いが、式の形が複雑になると正しい答えを導くことができない生徒が増える。 ・「思考・判断・表現」の問題になると、既習事項を生かすことができず、正解を求められない生徒が増える。 ・短答式の問題の正答率に比べ、記述式の問題の正答率が低くなっている。	・どのように計算したのかというその過程を説明させ、他の生徒が理解できているのか確認する機会を設けること。 ・同じ問題を扱うにしても、発展クラスでは他の生徒に解き方を説明できるようにすること、基礎クラスでは立式できるようにすることを目指すなど、習熟度別少人数授業の特性を生かすこと。 ・普段から、「なぜこのようになるのか？」という問い掛けをしていくとともに、生徒に説明させることで、論理的な思考を身に付けさせていくこと。